

第5回八峰町文化祭開催

展示作品や芸能発表で芸術の秋を楽しみました



尺八と箏の音色が奏でる「祝いの曲」



ご夫婦で披露 秋田おぼこ



八森翔舞会による「剣山」



勇壮に舞った石川駒踊り



会場は満員のお客さんで盛り上がりました



ボランティアグループ若菜会による「千恵っ子よされ」



水沢小児童と水沢郷土芸能保存会による「農作業風景」

第5回八峰町文化祭が、11月6日から10日の5日間の日程で、ファガスと峰栄館を会場に開催されました。この文化祭は生涯学習活動を行っている団体や小中学生が日頃の学習の成果を披露する機会となっており、八峰町芸術文化協会と八峰町公民館の主催で毎年開催されています。昨年は、新型インフルエンザの影響で芸能発表部門が中止となりましたが、今年はファガスと峰栄館で小中学生の絵画や書道のほか、生涯学習団体の

や各種講座の受講生による写真、俳句、生け花、手芸など多数の作品が展示され、訪れた人たちは数々の力作に足を止めてじっくりと鑑賞していました。また、7日にはファガスで芸能発表が行われ、日頃練習した成果を披露しました。祭鼓連の力強い太鼓演奏にはじまり、水沢小児童による郷土芸能や芸能文化協会の会員の皆さんによる踊り、峰神太鼓が披露され、第2部では、大正琴や踊り、尺八演奏などが行われたほか、最後に石川郷土芸能保存会による奴踊りと駒踊りが披露され、観客から惜しみない拍手が送られました。



たくさんの力作が展示